



2018年
11月01日
No.A18-07

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2018年10月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップミーティング

・10月1日(月)、安藤 裕康 国際交流基金理事
長「世界の中の日本文化」(於:ホテルオーク
ラ)。



<要旨>

日本文化の特質について自然と人間との関係性や美的感性の点から説明されたほか、伝統と現代の文化の連続性について述べられた。また、日本文化の国際社会への発信と日本語の普及の状況について話された。

(2) 講演会

・10月12日(金)、山本栄二 国際テロ対策・組織犯罪対策協力担当兼北極担当特命全権大使「国際テロリズムと我が国の対策」(於:日本記者クラブ「会見場」)。



<要旨>

「イスラーム国」が衰退し、テロ事件についての報道が減少しつつある一方で、日本は2020年東京オリンピックを控えており、依然として国際テロ・組織犯罪対策は我が国の重要課題である。これを踏まえ、講師より、最近のテロ情勢、テロについて懸念すべき傾向、日本のテロ対策(二国間、多国間)について説明された。本演題は東京オリンピックを控え参加者の関心が高かったことから、日本のテロ対策について多くの質問が出た。なお、講演はオフレコで行われた。

(3) 研究員発表会

・10月3日(水)、金子真夕研究員、高岡豊主席研究員(於:日本記者クラブ「会見場」)

<要旨>

「トルコリラ続落の背景と今後の展望」(金子研究員)



トルコリラが下落し続ける背景として、トルコにおける大統領選挙と議会選挙の実施とエルドアン大統領の権限強化について触れた。そのうえで、下落が始まる契機としてトルコ・米国間の関係悪化を挙げつつ、両国の関係悪化の背景にエルドアン大統領による独裁以外にも要因があると指摘した。関係を悪化させた要因として、トルコのクーデタ未遂への関与が疑われるブランソン牧師の身柄引き渡しをめぐる両国の対立、トルコによる中国への接近、「イスラーム国」とクルド人への対策、米国大使館のエルサレム移転などを挙げた。今後の展望として、欧州諸国との関係、ロシアとの関係について述べた。

「シリア紛争の現状と見通し」(高岡主席研究員)



これまでシリア紛争に関与してきた「アメリカ、フランス、イギリス、トルコ、サウジ、カタール」・「シリア、イラン、ロシア」間

の力関係の推移の特徴について説明した。また、2016年から2018年までのシリア国内での各勢力による領土的な制圧や占拠の推移について述べた。さらに、今後の焦点として幹線道路と外国とのつながりをどう確保するか、難民の帰還、シリア国内での復興事業の実施、シリア政府による領土の統制の程度やタイミングなどを挙げた。

※内容はホームページをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/44.html>)

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行(会員限定)

・2018年10月号(2018年11月01日付)

1. アフガニスタン：難航する議会選挙
2. イスラエル・ヨルダン：1994年平和条約の附属書の延期をめぐる齟齬
3. イラク：国会が閣僚の一部を信任
4. サウジアラビア：イスタンブール総領事館でのジャーナリスト殺害事件
5. トルコ：シリア問題に関する4カ国首脳会議

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) イスラーム過激派モニターの発行(会員限定)

・No.12「シリア：「シャーム解放機構」がロシア・トルコ合意について声明を発表」(10月15日)

・No.13「アフガニスタン：ターリバーンとアメリカの特使が会談」(10月16日)

・No.14「シリア：邦人ジャーナリストの解放について(大野客員研究員の見解)」(10月24日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(3) 中東かわら版の発行

- No.62「パレスチナ：イスラーム聖戦機構(PIJ)が指導部を改選」(主席研究員 高岡豊、10月01日)
- No.63「イスラエル・パレスチナ：アラブ系イスラエル人の議員がゼネストを組織」(研究員 西舘康平、10月04日)
- No.64「リビア：エジプト人イスラーム過激派幹部ヒシャム・アシュマーウィーの拘束」(研究員 金谷美沙、10月09日)
- No.65「バハレーン：投資誘致のための法整備」(主席研究員 高岡豊、10月09日)
- No.66「サウジアラビア：ジャマール・カシヨギ氏の失踪」(研究員 金谷美沙、10月11日)
- No.67「トルコ：ブランソン牧師の身柄解放と同牧師の帰国」(研究員 金子真夕、10月15日)
- No.68「サウジアラビア：ジャマール・カシヨギ氏の失踪 #2」(研究員 金谷美沙、10月15日)
- No.69「ヨルダン：ラッザーズ政権が内閣改造」(研究員 西舘康平、10月16日)
- No.70「サウジアラビア：ジャマール・カシヨギ氏の失踪 #3」(10月17日)
- No.71「イラン：カシヨギ氏事件の裏で進展する米国の対イラン制裁」(研究員 近藤百世、10月18日)
- No.72「サウジアラビア：ジャマール・カシヨギ氏の失踪 #4」(主席研究員 高岡豊、10月22日)
- No.73「イラク：クルド地区議会選挙の結果」(主席研究員 高岡豊、10月24日)
- No.74「シリア：安田純平氏の解放情報」(主席研究員 高岡豊、10月24日)
- No.75「シリア：安田純平氏の解放と身代金」(主席研究員 高岡豊、10月25日)
- No.76「オマーン：イスラエルのネタニヤフ首相

- の来訪」(主席研究員 高岡豊、10月29日)
- No.77「UAE：国際行事にイスラエルが公然と参加」(主席研究員 高岡豊、10月31日)
- ※内容はホームページをご参照ください。
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

3. その他

(1) 要人往来

- ・10月27日(土)、河野太郎外相がバハレーンの首都マナーマを訪問、サルマーン皇太子及びハリーフア首相を表敬。ハリード外相と外相会談した。
- ・10月27日(土)、バハレーン訪問中の河野太郎外相がヨルダンのアイマン・サファディー外務・移民相と会談した。